

平成 30 年度

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

アドミッション・オフィス入試 <AO 入試>

グループディスカッション A

<課題冊子>

<評価視点>

グループディスカッションにおける取組姿勢・発言内容から、①主体性・積極性、②リーダーシップ力・協働性、③表現力を評価します。

特に、課題用紙に示す目標に向けて改善を続けていくプロセスを重視します。

注 意 事 項

1. 開始の合図があるまで、この課題冊子を開かないでください。
2. この課題冊子には、表紙および白紙を除いて課題用紙が 1 枚あります。開始の合図があつてから確認してください。なお、文字等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があつた場合には、監督者に申し出てください。
3. ディスカッションの時間は 60 分間です。開始から 30 分および 50 分経過時に時間をお知らせします。
4. この課題冊子とは別に、グループごとに模造紙、付箋、マジック、ペンを用意しています。必要に応じてお使いください。
5. このディスカッションでは、別途用意された道具を使用します。開始後に不具合があつた場合には監督者に申し出てください。
6. トイレ等により部屋から出る場合には、監督者に申し出て指示に従ってください。
7. この課題冊子は、試験終了後、持ち帰ってください。

課題用紙

用意された道具一式を使って鉄道路線の模型を作成してください。作成する路線は2つの周回路線 A, B とし、両者は一部の区間で繋がっているものとします。

それぞれの路線には、それぞれ別の電車を同時に走らせます。電車同士がぶつからずに、路線 A を走る電車が3周する時間をより長くすることを目標とします。

ただし、以下の条件を満たすこととします。

作成条件1：すべてのレールを使用すること

作成条件2：レール同士の立体交差を全体で1箇所以上設けること（同じ路線のレール同士でもよい）

走行条件1：それぞれの電車は3両編成とし、編成は変えないこと

走行条件2：電車の速度は2種類あり、それぞれの電車の速度は走行開始前に選択すること

走行条件3：ポイント（進路を変える部分）を電車の走行中に操作し、路線 A を走る電車は路線 A を、路線 B を走る電車は路線 B を走行し続けること

走行条件4：それぞれの電車のスタート地点は自由とするが、路線 A のスタート地点には目印を置くこと

※ 用意されたストップウォッチを使って何度でも計測することができます。

※ 60分経過時まで目標に向けた改善を続けてください。

平成 30 年度

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

アドミッション・オフィス入試 <AO 入試>

グループディスカッション B

<課題冊子>

<評価視点>

グループディスカッションにおける取組姿勢・発言内容から、①主体性・積極性、②リーダーシップ力・協働性を評価します。

特に、自由な発想でさまざまな可能性を検討していくプロセスを重視します。

注 意 事 項

1. 開始の合図があるまで、この課題冊子を開かないでください。
2. この課題冊子には、表紙および白紙を除いて課題用紙が 1 枚あります。開始の合図があつてから確認してください。なお、文字等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があつた場合には、監督者に申し出てください。
3. ディスカッションの時間は 60 分間です。開始から 30 分および 50 分経過時に時間をお知らせします。50 分経過後はまとめに入ってください。
4. この課題冊子とは別に、グループごとに模造紙、付箋、マジック、ペンを用意しています。ディスカッションとまとめにお使いください。
5. ディスカッションの進行は各グループの自由とします。
6. トイレ等により部屋から出る場合には、監督者に申し出て指示に従ってください。
7. この課題冊子は、試験終了後、持ち帰ってください。

課題用紙

ドローンやスマートフォンなど、さまざまな技術開発が行われています。これらの技術開発が、災害にかかわる避難・人命救助をどのように変えていくと思いますか。また、今後の理想的な避難・人命救助に向けて、どのような技術開発が求められますか。

グループで考え、模造紙1枚にまとめなさい。